



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月12日

上場会社名 アジアグロースキャピタル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6993 URL http://www.agcap.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 浩平
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 岩瀬 茂雄 TEL 03-3448-7300
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|-------|---|------|-------|--------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第2四半期 | 8,003 | — | 1,014 | — | 665 | 377.6 | 147 | 3.1 |
| 26年3月期第2四半期 | 206 | △7.6 | △121 | — | 139 | — | 142 | — |

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 340百万円 (137.4%) 26年3月期第2四半期 143百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第2四半期 | 1.92 | 1.91 |
| 26年3月期第2四半期 | 2.74 | 2.66 |

(注) 平成26年3月5日付でライツ・オファリング（ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て）に基づく新株予約権の株主割当てを行い、当該新株予約権の行使に伴い新株式を発行しております。ライツ・オファリングに基づく払込金額は時価よりも低いため、前連結会計年度の期首に当該ライツ・オファリングに基づく払込による株式分割相当部分が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 27年3月期第2四半期 | 11,879 | 5,721 | 38.4 | 58.30 |
| 26年3月期 | 9,943 | 4,737 | 26.9 | 38.94 |

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 4,563百万円 26年3月期 2,674百万円

(注) 平成26年3月5日付でライツ・オファリング（ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て）に基づく新株予約権の株主割当てを行い、当該新株予約権の行使に伴い新株式を発行しております。ライツ・オファリングに基づく払込金額は時価よりも低いため、前連結会計年度の期首に当該ライツ・オファリングに基づく払込による株式分割相当部分が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 27年3月期— | — | 0.00 | | | |
| 27年3月期（予想） | | | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 16,913 | 84.4 | 2,284 | 99.3 | 1,828 | 63.5 | 583 | 108.8 | 7.52 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 27年3月期2Q | 78,159,666株 | 26年3月期 | 68,689,192株 |
| ② 期末自己株式数 | 27年3月期2Q | 9,379株 | 26年3月期 | 7,901株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 27年3月期2Q | 76,962,517株 | 26年3月期2Q | 52,126,641株 |

(注) 平成26年3月5日付でライツ・オフアリング（ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て）に基づく新株予約権の株主割当てを行い、当該新株予約権の行使に伴い新株式を発行しております。ライツ・オフアリングに基づく払込金額は時価よりも低いため、前連結会計年度の期首に当該ライツ・オフアリングに基づく払込による株式分割相当部分が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動によって一時的な減速があったものの、雇用情勢の改善の動きが見え、緩やかではありますが回復基調で推移いたしました。

このような経済環境の中で、当社は、平成25年10月1日より株式会社ディーワンダーランド（以下「DW」といいます。）及びDWの完全子会社である株式会社大黒屋（以下「大黒屋」といいます。）を連結子会社としておりますが、子会社との資本・業務面を含む提携関係をさらに強化し、そして、当社グループとしてシナジー効果を最大限発揮し連結利益の最大化を図る目的で、平成26年3月5日付で割当てを行ったライツ・オフアリングによる新株予約権の行使により調達した資金にて、平成26年5月16日から平成26年7月1日の間にDW株式の公開買付けを行い、同年7月18日に同社株式28.7%を追加取得し、当社グループ合計でDW株式の71.5%を保有することとなりました。

このようなグループ環境の下、当社主力子会社である大黒屋の売上高は、消費税増税の影響により、当第1四半期会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）に係る売上高が前年同期（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に比べ落ち込み、平成26年4月1日から平成26年9月30日の期間の売上高は、前年同期に比べ減収となりました。しかし、継続的な円安により、大黒屋のブランド品価格はドルベースで大幅に下落したため、今後、円安傾向が継続した場合、免税販売の増加が見込まれ大黒屋の売上高は増収する傾向となります。

当社グループ全体といたしましては、DW及び大黒屋の連結子会社化に伴い、当第2四半期連結累計期間における売上高は8,003百万円（前年同期比3,774.8%増）、営業利益及び経常利益につきましてもそれぞれ1,014百万円（前年同期は営業損失△121百万円）、665百万円（前年同期比377.6%増）と前年同期に比べ増加しておりますが、平成26年3月5日付で割当てを行ったライツ・オフアリングによる新株予約権の行使関連費用、平成26年5月16日から同年7月1日の期間で実施した上記DW株式の公開買付関連費用、大黒屋における広告宣伝強化費用、さらに、平成26年4月22日付けで大黒屋で実施したリファイナンス関連費用を合計で298百万円を計上しており、これら追加費用が当第2四半期連結累計期間における収益を圧迫し当社連結業績に大きな影響を与えております。しかし、上記平成26年7月のDW株式の追加取得により、当第2四半期会計期間より大黒屋の最終損益の71.5%が当社連結最終損益に帰属することとなり、この結果、第1四半期純損失を解消し、当第2四半期連結累計期間では、四半期純利益147百万円（前年同期比3.1%増）を計上することとなりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、大黒屋の営む質屋、古物売買業の業績につきましては、前第2四半期連結累計期間は持分法による投資損益として投資事業の業績として把握しておりましたが、前第3四半期連結会計期間における大黒屋の連結子会社化に伴い、同会計期間より質屋、古物売買業の業績として把握することといたしました。これに伴い、前第3四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

当社グループの主力事業である質屋、古物売買業が属する中古ブランド品小売業界は、昨年末からの一層の円安傾向によるブランド品価格の上昇に加え、消費税増税により、4月、5月は国内需要が低迷しておりました。しかし、継続的な円安により、外国人観光客のブランド品需要が高まっており、免税販売の増収傾向は続いております。

このような状況の下、大黒屋が営む質屋、古物売買業における売上については、円安に伴う外国人観光客等向けの販売において過去最高の売上高を記録した昨年の98%を確保した一方で、国内販売において価格の上昇及び消費税増税の影響が大きく、平成26年4月1日から平成26年9月30日の期間は、7,829百万円（前年同期9,281百万円より15.7%減少）と前年同期に比べ減収となりました（ホームページがリニューアル中のためネット売上も77百万円の減少）。同期間における利益面につきましては、売上の減少に伴う売上総利益の減少や広告宣伝の強化に伴う広告宣伝費の増加により営業利益は1,190百万円（前年同期1,563百万円より23.8%減少）、リファイナンスに伴い発生したリファイナンス手数料及びその他関連費用により経常利益は878百万円（前年同期1,262百万円より30.4%減少）、四半期純利益は552百万円（前年同期758百万円より27.2%減少）と前年同期に比べ減益となりました。（なお、上記の営業利益、経常利益及び四半期純利益については、連結の適用に伴う一定の調整を加えた後の金額となっております。）

他方、電機事業の属する電機事業業界は、長期にわたる産業用の設備投資の抑制による受注低迷に加え、資材価格や物流経費の上昇、市場規模が小さい中での厳しい価格競争により収益的に厳しい環境が続いておりますが、当社の電機事業においては、適正な利益を確保すべく抜本的な事業の見直しに着手し、顧客に対して製造原価上昇分の販売価格への転嫁を行い、また、製品別の利益幅の改善を進めるとともに、顧客の節電対応により需要が顕在化しているLED製品の新たな販路の開拓に努め、利益率の更なる改善を図っております。この結果、電機事業における売上高は174百万円と前年同期に比べ15.7%減少となりましたが、売上総利益は64百万円と前年同期に比べ26.1%増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、9,880百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,985百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が1,996百万円増加したことによるものであります。固定資産は、1,998百万円となり、前連結会計年度末に比べ49百万円の減少となりました。これは主に有形固定資産が34百万円減少し、投資その他の資産が21百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、11,879百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,935百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、2,121百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,947百万円の減少となりました。これは主に短期借入金が493百万円増加する一方で、1年以内に返済される借入金が3,286百万円、未払法人税等が108百万円減少したことによるものであります。固定負債は、4,036百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,898百万円の増加となりました。これは主に長期借入金が3,900百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、6,157百万円となり、前連結会計年度末に比べ951百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、5,721百万円となり、前連結会計年度末に比べ984百万円の増加となりました。これは主に新株予約権の行使1,732百万円、四半期純利益147百万円及び少数株主持分の減少897百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、38.4%（前連結会計年度末は26.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年8月7日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,451,618 | 3,447,913 |
| 受取手形及び売掛金 | 519,939 | 436,484 |
| 営業貸付金 | 1,987,440 | 1,953,485 |
| 商品及び製品 | 3,217,773 | 3,621,894 |
| 仕掛品 | 18,728 | 15,427 |
| 原材料及び貯蔵品 | 39,225 | 37,673 |
| その他 | 663,909 | 370,514 |
| 貸倒引当金 | △2,699 | △2,414 |
| 流動資産合計 | 7,895,936 | 9,880,979 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 840,088 | 840,088 |
| 減価償却累計額 | △510,434 | △531,298 |
| 建物及び構築物（純額） | 329,654 | 308,790 |
| 機械装置及び運搬具 | 139,828 | 139,828 |
| 減価償却累計額 | △138,544 | △138,810 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 1,284 | 1,017 |
| 工具、器具及び備品 | 651,556 | 658,877 |
| 減価償却累計額 | △553,058 | △573,914 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 98,497 | 84,963 |
| 土地 | 390,971 | 390,971 |
| 有形固定資産合計 | 820,407 | 785,742 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 662,142 | 645,164 |
| その他 | 20,855 | 44,169 |
| 無形固定資産合計 | 682,997 | 689,333 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 33,669 | 39,979 |
| 差入保証金 | 485,250 | 482,139 |
| その他 | 28,347 | 4,143 |
| 貸倒引当金 | △2,640 | △2,640 |
| 投資その他の資産合計 | 544,627 | 523,622 |
| 固定資産合計 | 2,048,032 | 1,998,698 |
| 資産合計 | 9,943,968 | 11,879,678 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 86,296 | 75,870 |
| 短期借入金 | 37,000 | 530,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 4,086,120 | 800,000 |
| 未払法人税等 | 378,438 | 269,798 |
| 賞与引当金 | - | 15,000 |
| ポイント引当金 | 95,411 | 103,294 |
| その他 | 386,090 | 327,489 |
| 流動負債合計 | 5,069,356 | 2,121,451 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | - | 3,900,000 |
| 退職給付に係る負債 | 41,143 | 33,881 |
| 資産除去債務 | 14,983 | 15,108 |
| その他 | 81,350 | 87,404 |
| 固定負債合計 | 137,476 | 4,036,395 |
| 負債合計 | 5,206,833 | 6,157,847 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 738,214 | 1,604,617 |
| 資本剰余金 | 419,825 | 1,286,229 |
| 利益剰余金 | 1,516,074 | 1,663,488 |
| 自己株式 | △1,577 | △1,894 |
| 株主資本合計 | 2,672,537 | 4,552,442 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,595 | 3,773 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,595 | 3,773 |
| 少数株主持分 | 2,063,002 | 1,165,615 |
| 純資産合計 | 4,737,135 | 5,721,831 |
| 負債純資産合計 | 9,943,968 | 11,879,678 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 206,561 | 8,003,868 |
| 売上原価 | 155,411 | 5,423,924 |
| 売上総利益 | 51,149 | 2,579,943 |
| 販売費及び一般管理費 | 172,800 | 1,565,274 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △121,650 | 1,014,669 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 33 | 442 |
| 受取配当金 | 4 | 376 |
| 持分法による投資利益 | 262,750 | - |
| 受取手数料 | - | 4,132 |
| 退職給付に係る負債戻入額 | - | 5,686 |
| 長期未払金取崩益 | - | 4,866 |
| その他 | 2,830 | 2,821 |
| 営業外収益合計 | 265,618 | 18,325 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4,620 | 124,284 |
| 支払手数料 | - | 199,576 |
| 株式交付費 | - | 42,628 |
| その他 | - | 957 |
| 営業外費用合計 | 4,620 | 367,445 |
| 経常利益 | 139,348 | 665,549 |
| 特別利益 | | |
| 負ののれん発生益 | - | 29,533 |
| 固定資産売却益 | 5,207 | - |
| 特別利益合計 | 5,207 | 29,533 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | - | 699 |
| 特別損失合計 | - | 699 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 144,556 | 694,383 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,602 | 351,503 |
| 法人税等調整額 | - | 6,332 |
| 法人税等合計 | 1,602 | 357,836 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 142,953 | 336,546 |
| 少数株主利益 | - | 189,132 |
| 四半期純利益 | 142,953 | 147,414 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 142,953 | 336,546 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 219 | 3,990 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 271 | - |
| その他の包括利益合計 | 490 | 3,990 |
| 四半期包括利益 | 143,444 | 340,537 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 143,444 | 149,592 |
| 少数株主に係る包括利益 | - | 190,944 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 144,556 | 694,383 |
| 減価償却費 | 1,527 | 44,417 |
| のれん償却額 | - | 16,978 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | - | △285 |
| 退職給付引当金の増減額（△は減少） | △1,613 | - |
| 退職給付に係る負債の増減額（△は減少） | - | △7,261 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | - | 15,000 |
| ポイント引当金の増減額（△は減少） | - | 7,882 |
| 受取利息及び受取配当金 | △38 | △818 |
| 支払利息 | 4,620 | 124,284 |
| 支払手数料 | - | 199,576 |
| 株式交付費 | - | 42,628 |
| 持分法による投資損益（△は益） | △262,750 | - |
| 負ののれん発生益 | - | △29,533 |
| 減損損失 | - | 699 |
| 有形固定資産売却損益（△は益） | △4,307 | - |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 53,323 | 117,409 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | 15,500 | △399,267 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | △28,709 | △10,426 |
| その他の流動資産の増減額（△は増加） | △2,154 | △120,357 |
| その他の固定資産の増減額（△は増加） | △2,272 | 3,191 |
| その他の流動負債の増減額（△は減少） | △4,890 | 410 |
| その他の固定負債の増減額（△は減少） | △1,783 | △5,066 |
| 小計 | △88,991 | 693,846 |
| 利息及び配当金の受取額 | 4 | 818 |
| 利息の支払額 | - | △139,335 |
| 支払手数料の支払額 | - | △7,982 |
| 法人税等の支払額 | △3,590 | △471,802 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △92,577 | 75,544 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | - | △37,880 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 15,337 | - |
| 無形固定資産の取得による支出 | - | △37,473 |
| 短期貸付けによる支出 | △16,300 | - |
| 短期貸付金の回収による収入 | 1,860 | - |
| 敷金の回収による収入 | 7,794 | - |
| 預け金の払戻による収入 | - | 450,000 |
| 子会社株式の取得による支出 | - | △1,058,798 |
| その他 | - | △7 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 8,692 | △684,159 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | - | 500,000 |
| 短期借入金の返済による支出 | △39,300 | △7,000 |
| 長期借入れによる収入 | - | 4,508,168 |
| 長期借入金の返済による支出 | - | △4,086,120 |
| 制限付預金の預入による支出 | - | △1,500,000 |
| 株式の発行による収入 | 328,000 | 1,690,179 |
| その他 | △2 | △317 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 288,697 | 1,104,910 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 204,812 | 496,295 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 81,317 | 1,451,618 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 286,130 | 1,947,913 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使により、資本金が866,403千円、資本剰余金が866,403千円増加し、この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,604,617千円、資本剰余金が1,286,229千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結損 益計算書上額 (注) 3 |
|---------------------------|---------|--------------|---------|--------------|---------|--------------|---------------------------|
| | 電機事業 | 質屋、 古物売買業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 206,561 | — | 206,561 | — | 206,561 | — | 206,561 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 206,561 | — | 206,561 | — | 206,561 | — | 206,561 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 27,941 | — | 27,941 | △2,983 | 24,957 | △146,607 | △121,650 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 持分法投資利益 又は損失(△) | — | 279,959 | 279,959 | △17,209 | 262,750 | — | 262,750 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業及び不動産
賃貸業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△146,607千円は、各報告セグメントに配分していない
全社費用であります。主に、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結損 益計算書上額 (注) 3 |
|---------------------------|---------|--------------|-----------|--------------|-----------|--------------|---------------------------|
| | 電機事業 | 質屋、古物 売買業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 174,193 | 7,829,141 | 8,003,334 | 533 | 8,003,868 | — | 8,003,868 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 174,193 | 7,829,141 | 8,003,334 | 533 | 8,003,868 | — | 8,003,868 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 45,108 | 1,190,951 | 1,236,059 | △59,576 | 1,176,482 | △161,813 | 1,014,669 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 持分法投資利益 又は損失(△) | — | — | — | — | — | — | — |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業及び不動産
賃貸業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△161,813千円は、各報告セグメントに配分していない
全社費用であります。主に、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間より、株式会社ディーワンダーランド及びその完全子会社である株式会社大黒屋を連結の範囲に含めたことに伴い、従来、投資事業として業績把握を行っていた「質屋、古物売買業」を新たに報告セグメントに加え、報告セグメントとしていた「投資事業」を「その他」の区分へ変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成しており、前第2四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(重要な負ののれん発生益)

当社は、平成25年10月1日より株式会社ディーワンダーランド及びその完全子会社である株式会社大黒屋を連結子会社としておりますが、子会社との資本・業務面を含む提携関係をさらに強化し、そして、当社グループとしてシナジー効果を最大限発揮し連結利益の最大化を図る目的で、平成26年5月16日から平成26年7月1日の間にDW株式の公開買付けを行い、同年7月18日に同社株式28.7%を追加取得いたしました。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては29,533千円であります。